

みみつ中央通信

人は行動しなければ何も起こらない。世の中には失敗を恐れるあまり何ひとつ行動を起こさない慎重な人もいる。それでは、失敗を避けることはできるが、その人は何も得ることはできない。

これとは正反対に失敗することをまったく考えず、ひたすら突き進む生き方を好む人もいる。一見すると強い意志と勇気を持ち主のように見えるが、危険を認識できない無知が背景にあるとすれば、まわりの人々にとっては、ただ迷惑だけの生き方になる。おそらくその人は、同じ失敗を何度も繰り返すだけで、失敗に直面しても原因の究明を行わず、まわりをこまかす言い訳に終始する人も少なくない。それでは、いつまで経っても成長しない。

大切なのは、失敗の法則性を理解し、失敗の要因を知り、失敗が本当に致命的なものになる前に、未然に防止する術を覚えることである。これをマスターすることが小さな失敗経験を新たな成長へと導く力にすることになる。

さらに新しいことにチャレンジするとき、再び失敗を経験するだろう。そこでもまた、致命的にならないうちに失敗原因を探り、対策を考え、新たな知識を得て対処すれば、必ずや次の段階へ導かれる、この単純ともいえる繰り返しこそが、実は大きな成長、発展への原動力となる。

『失敗学のすすめ』 著：畑村洋太郎

よく、「失敗は成功の基」とか「止めなければ失敗にならない」等と言う。失敗はしたくてするものではなく、結果として失敗したことになるだけだ。しかし、その失

敗も、とらえ方を間違えると本当に失敗だけで、何も残らなくなるばかりか、マイナス面ばかりになってしまいうこともある。そこで大切な事は、プラス面に目を向けるために、自分の意識レベルをあげる事である。意識レベルとは、プラス面になるように日頃から、心を磨き、心身共に鍛えることである。磨くとか鍛えると言っても難しいことではない。いつも言っているように、当たり前のことを素敵に丁寧に実行すること。その姿は、周りから見ると格好良く見える。



校長 鈴木利明

失敗に学ぶ大切さを知り、

プラス面に目を向けよう

今、三学年の国語の授業で、論語を学んでいる。その教科書の中に、

子曰はく
過(あやま)ちて改(あらた)めざる
之(これ)を過(ち)と謂(い)ふ。

子曰はく
君子(くんし)は之(これ)を己(おのれ)に求(もと)む。
小人(しょうじん)は之(これ)を人(ひと)に求(もと)む。

ここでの之とは、失敗の原因や責任のことである。孔子は、失敗したことを「自分

が源泉」という考え方で悟っている。失敗の考え方を、どの方向に向けることが、自分の成長に繋がるのかを示しているのだ。

今、世の中の風潮として、失敗すると恥ずかしいとか、笑われてしまうと思ってしまう人が少なくない。それは間違っていないことだと思うが、冷静に考えて欲しいのは、失敗すると言うことは、まだ、次のステージが迎えに来ていないと言うことなのだ。失敗することで何かを学ばせようとしているのだ。だからこそ、失敗したことを人のせいにしてたり環境のせいにしてたりすることなく、失敗を楽しむくらいの覚悟が必要になる。

それにしても、失敗というのは実に面白い。失敗の反対は、成功と答えるのが一般的ではあるが、世の中で成功しているという人の講演を聴くと、失敗の反対は、皆共通して「何もしないこと」と言っている。失敗は、何か行動を起こさないと経験する」と

とは出来ないもので、失敗の反対は、「何もしないこと」になるらしい。失敗を経験するとその時は、落ち込んだり、反省をしたりするが、失敗を予測できると、落ち込む前にすでに次のことを考え行動に移している。つまり、失敗することを想定しながら前向きに捉え、前進しているのだ。

人は年齢に関係なく、挑戦し続ける方が人生は面白い。そして何歳になっても失敗から学ぶことはできる。ひすいこたろうさんの書いている『明日死ぬかもよ』の中に、「人生で一番悔いの残っていることは冒險しなかったこと」と書いてある。

失敗してもいいじゃないか。その先には、必ず光り輝く姿がまっているから。

令和3年度 新入生・保護者入学説明会



少しでも早く、中学校に興味をもって準備出来るようにと説明会を実施しました。コロナ対策として、小学校別に分けて、説明や学校見学をしました。みんな、素敵な笑顔で話を聞いていました。来年の入学がとても楽しみです。



県立高校説明会 (日向・日向工業・富島・門川)



1学期の私立高校説明会に引き続き、全校生徒を対象にした県立高校説明会を実施しました。県立高校も自校の特色を前面に出しながらの説明でした。全校どの学年も一生懸命に聴いていました。特に3年生は、目の前に入試が迫っているのので、真剣さが違ったようでした。高校の先生方には、わざわざ、来校していただいたことに感謝するとともに、全校生徒一人一人が、目的と目標をもって進学してほしいと願っています。

日向地区中学校体育大会秋季大会 2020



文科省大会・中体連連覇の軟式野球部

【団体戦結果】

優勝：軟式野球部 3位：女子ソフトテニス部
初選敗退：女子バレー部・男子卓球部

【個人戦（県大会出場者）結果】

男子卓球部

河野輝大・長埜蓮・橋本暁弥（1年）
河野悠真・前田純也（2年）

女子ソフトテニス部

黒木美優・是則佑衣（2年ペア）



新型コロナウイルスの感染防止のために、全校生徒一人一人が自分の使っている机と椅子を消毒しています。帰りの会が終わった後、学級担任・副担任が机と椅子に消毒液をスプレーして、生徒は自分専用の台ふきで拭き上げ、最後に水道水できれいに洗って机の横に掛けます。毎日使わせていただいている大切な机なので、「今日もありがとう」の気持ちを込めてきれいにしています。